

2 日本人県民アンケート調査結果

II 調査結果

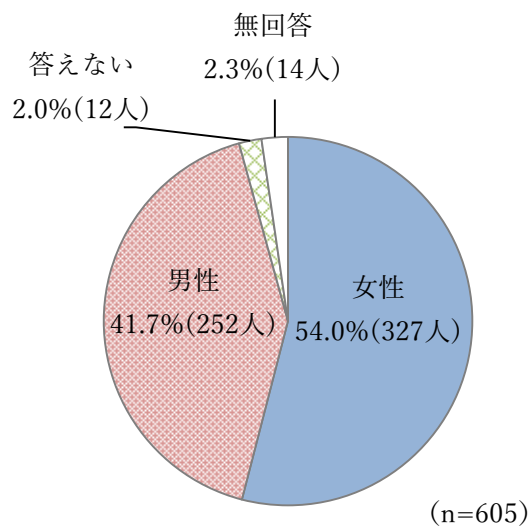
2 日本人県民アンケート調査結果

(1) 属性

①性別

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

- 「男性」が41.7%,「女性」が54.0%となっています。

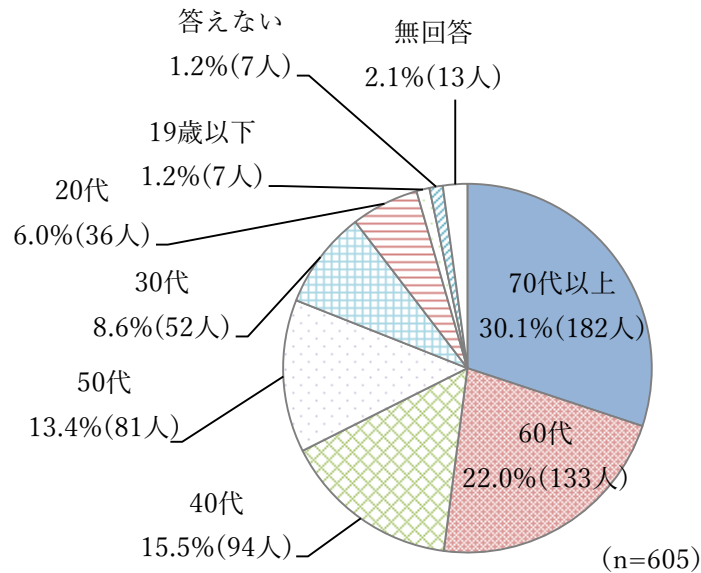


(1) 属性

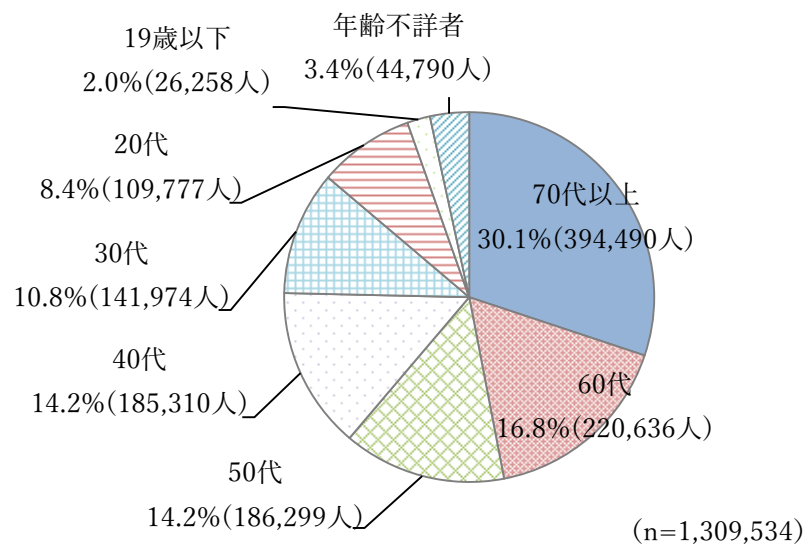
②年代

問2 あなたの年代を教えてください。(○は1つ)

- 「70代以上」が30.1%と最も高く、次いで「60代」(22.0%)、「40代」(15.5%)の順となっています。
- 県内の日本人の年齢別構成と比べると、同程度の回答比率割合となっています。



〔参考〕18歳以上の県内日本人の年齢別構成



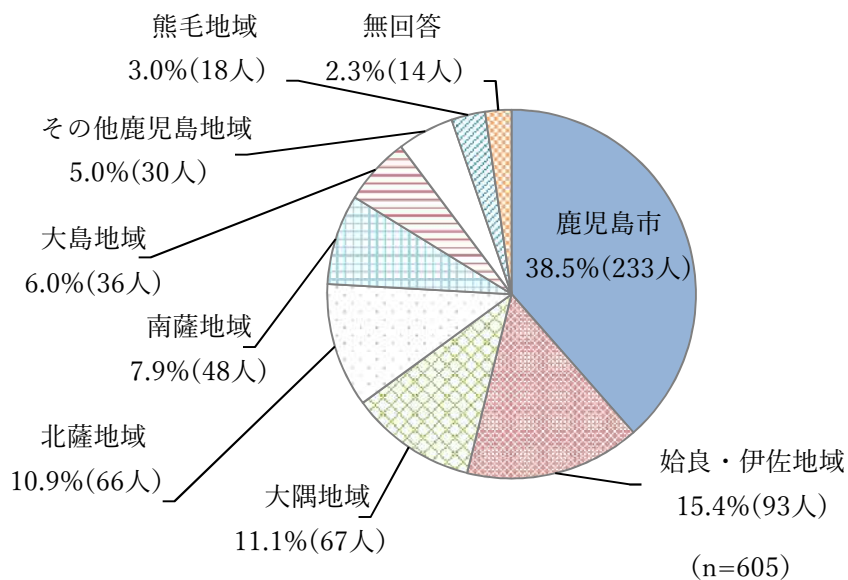
(出典：鹿児島県統計課 鹿児島県の推計人口 令和5年10月)

(1) 属性

③居住地

問3 お住まいの市町村を選択してください。(○は1つ)

- 「鹿児島市」が38.5%と最も高く、次いで「始良・伊佐地域」(15.4%)、「大隅地域」(11.1%)の順となっています。

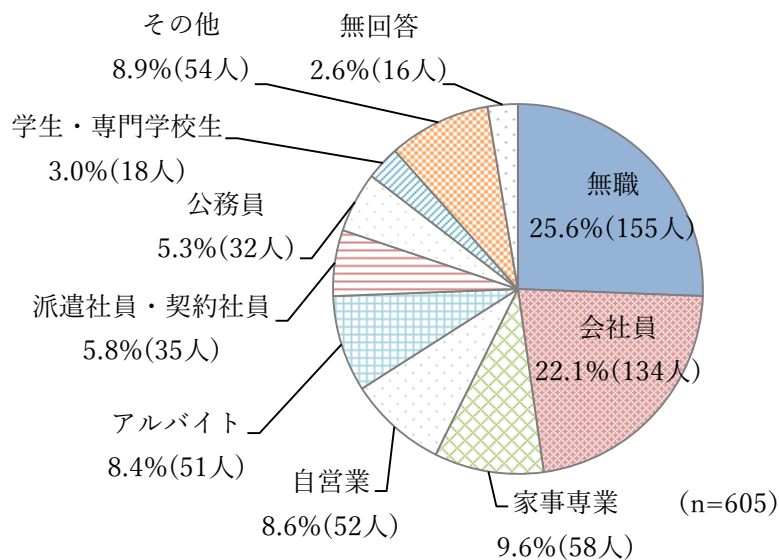


(1) 属性

④職業

問4 あなたの職業について、当てはまるものを選んでください。(○は1つ)

- 「無職」が25.6%と最も高く、次いで「会社員」(22.1%),「家事専業」(9.6%)の順となっています。

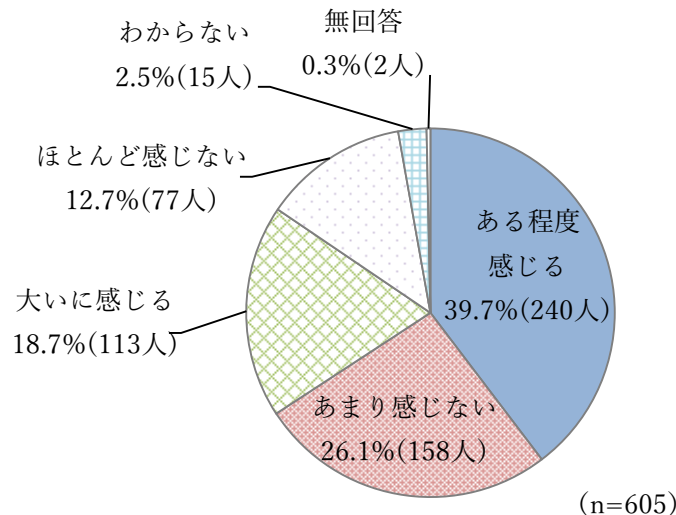


(2) 暮らしや意識に関すること（外国人増加の影響、多文化共生の認知度・必要性 等）

① 外国人が増えてきていると感じるか

問5 あなたは最近、地域に住む外国人が増えてきていると感じますか。（○は1つ）

- 「ある程度感じる」が39.7%、「大いに感じる」が18.7%となっており、「ある程度感じる」、「大いに感じる」を合わせた『感じる』の割合は58.4%となっています。
- 「あまり感じない」が26.1%、「ほとんど感じない」が12.7%となっており、「あまり感じない」、「ほとんど感じない」を合わせた『感じない』の割合は38.8%となっています。



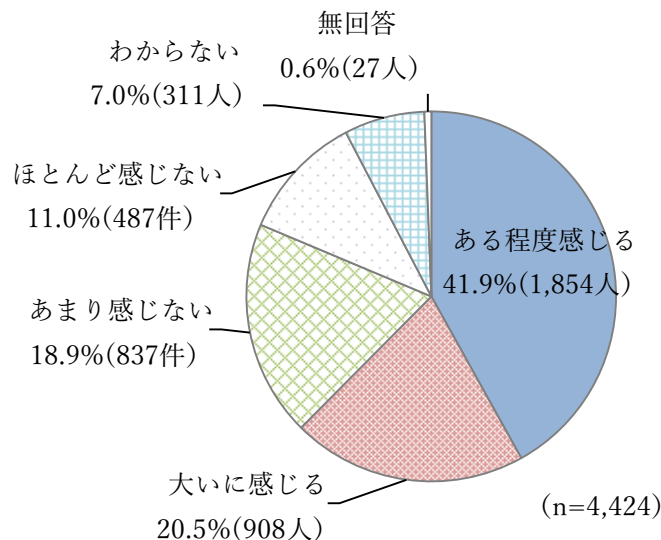
全国比較

- 出入国在留管理庁調査※1、※2では、「ある程度感じる」、「大いに感じる」を合わせた『感じる』と回答した割合は62.4%となっています。
- 出入国在留管理庁調査※1、※2では、「あまり感じない」、「ほとんど感じない」を合わせた『感じない』と回答した割合は29.9%となっています。
- 本調査と全国調査を比べると、同程度の回答比率割合となっています。

※1 「外国人との共生に関する意識調査（日本人対象）」（出入国在留管理庁，令和6年3月）

※2 「外国人との共生に関する意識調査（日本人対象）」では「あなたは最近、身の回りに働いている外国人が増加してきていると感じますか」という設問。

図 外国人との共生に関する意識調査（日本人対象）における働く外国人は増えたと思うかの回答割合



（出典：出入国在留管理庁 外国人との共生に関する意識調査（日本人対象） 令和6年3月）

■ クロス集計（問5「外国人が増えてきていると感じるか」 × 問2「年代」）

- 高い年代のほうが、「あまり感じない」、「ほとんど感じない」を合わせた『感じない』の割合が高い傾向となっています。

上段:度数 下段:%	大いに 感じる	ある程度 感じる	あまり 感じない	ほとんど 感じない	わからない	無回答
全体(n=605)	113 18.7	240 39.7	158 26.1	77 12.7	15 2.5	2 0.3
19歳以下(n=7)	2 28.6	3 42.9	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代(n=36)	3 8.3	20 55.6	11 30.6	2 5.6	0 0.0	0 0.0
30代(n=52)	9 17.3	23 44.2	16 30.8	3 5.8	1 1.9	0 0.0
40代(n=94)	26 27.7	48 51.1	18 19.1	2 2.1	0 0.0	0 0.0
50代(n=81)	20 24.7	27 33.3	23 28.4	10 12.3	1 1.2	0 0.0
60代(n=133)	21 15.8	50 37.6	38 28.6	23 17.3	1 0.8	0 0.0
70代以上(n=182)	24 13.2	63 34.6	47 25.8	36 19.8	10 5.5	2 1.1
答えない(n=7)	2 28.6	4 57.1	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0
無回答(n=13)	6 46.2	2 15.4	3 23.1	1 7.7	1 7.7	0 0.0

■ クロス集計（問5「外国人が増えてきていると感じるか」 × 問3「居住地」）

- いずれの地域においても、「大いに感じる」、「ある程度感じる」を合わせた『感じる』の割合が50%以上となっています。

上段:度数 下段:%	大いに 感じる	ある程度 感じる	あまり 感じない	ほとんど 感じない	わからない	無回答
全体(n=605)	113 18.7	240 39.7	158 26.1	77 12.7	15 2.5	2 0.3
鹿児島市(n=233)	35 15.0	86 36.9	74 31.8	29 12.4	8 3.4	1 0.4
その他鹿児島地域(n=30)	12 40.0	9 30.0	5 16.7	2 6.7	2 6.7	0 0.0
南薩地域(n=48)	10 20.8	27 56.3	7 14.6	3 6.3	1 2.1	0 0.0
北薩地域(n=66)	10 15.2	26 39.4	17 25.8	11 16.7	2 3.0	0 0.0
始良・伊佐地域(n=93)	13 14.0	38 40.9	29 31.2	13 14.0	0 0.0	0 0.0
大隅地域(n=67)	16 23.9	31 46.3	13 19.4	6 9.0	1 1.5	0 0.0
熊毛地域(n=18)	6 33.3	7 38.9	3 16.7	2 11.1	0 0.0	0 0.0
大島地域(n=36)	5 13.9	14 38.9	7 19.4	9 25.0	0 0.0	1 2.8
無回答(n=14)	6 42.9	2 14.3	3 21.4	2 14.3	1 7.1	0 0.0

■ クロス集計（問5「外国人が増えてきていると感じるか」 × 問10「外国人との交流頻度」）

- 「よくある」、「たまにある」では、「大いに感じる」、「ある程度感じる」を合わせた『感じる』の割合が80%以上となっています。

上段:度数 下段:%	大いに 感じる	ある程度 感じる	あまり 感じない	ほとんど 感じない	わからない	無回答
全体(n=605)	113 18.7	240 39.7	158 26.1	77 12.7	15 2.5	2 0.3
よくある(n=42)	16 38.1	18 42.9	6 14.3	2 4.8	0 0.0	0 0.0
たまにある(n=108)	34 31.5	57 52.8	12 11.1	4 3.7	1 0.9	0 0.0
あまりない(n=197)	34 17.3	90 45.7	56 28.4	17 8.6	0 0.0	0 0.0
全くない(n=256)	29 11.3	75 29.3	84 32.8	54 21.1	14 5.5	0 0.0
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

II 調査結果

2 日本人県民アンケート調査結果

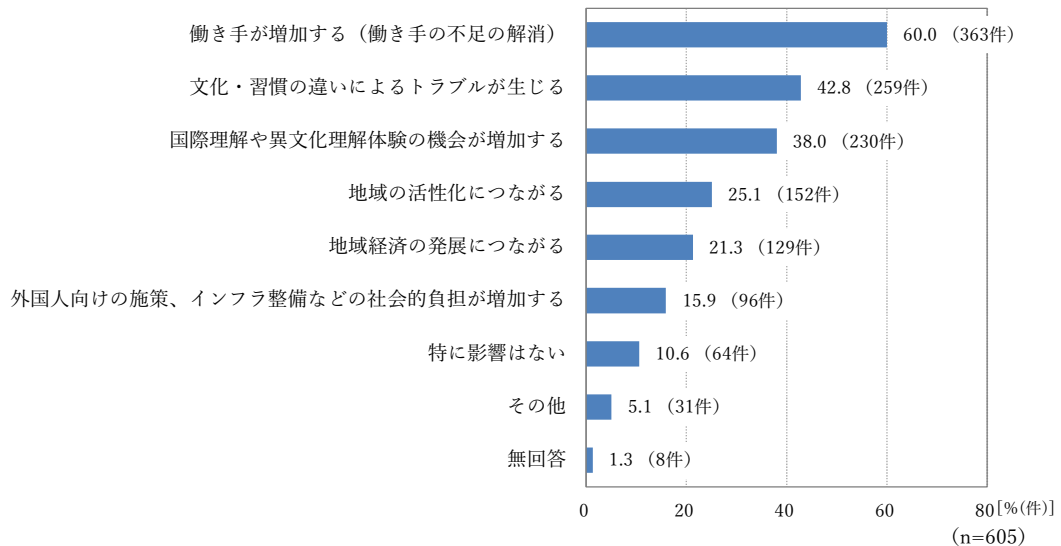
(2) 暮らしや意識に関すること（外国人増加の影響、多文化共生の認知度・必要性 等）

② 外国人が増えることの影響

問6 地域に住む外国人が増えることについて、どのような影響があると思いますか。

（当てはまるものすべてに○）

- 「働き手が増加する（働き手の不足の解消）」が60.0%と最も高く、次いで「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」（42.8%）,「国際理解や異文化理解体験の機会が増加する」（38.0%）の順となっています。



「その他」の主な意見例
身元がよく分からないので不安
若い人の仕事の減少
良い点もあると思うがルールやマナーなどの問題も多い

クロス集計（問6「外国人が増えることの影響」 × 問2「年代」）

- 若い年代のほうが、「国際理解や異文化理解体験の機会が増加する」の割合が高い傾向となっています。「19歳以下」では、「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	国際理解や異文化理解体験の機会が増加する	働き手が増加する (働き手の不足の解消)	地域経済の発展につながる	地域の活性化につながる	文化・習慣の違いによるトラブルが生じる	外国人向けの施策、インフラ整備などの社会的負担が増加する	特に影響はない	その他	無回答
全体(n=605)	230 38.0	363 60.0	129 21.3	152 25.1	259 42.8	96 15.9	64 10.6	31 5.1	8 1.3
19歳以下(n=7)	4 57.1	5 71.4	2 28.6	2 28.6	6 85.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代(n=36)	16 44.4	23 63.9	11 30.6	8 22.2	20 55.6	9 25.0	1 2.8	4 11.1	0 0.0
30代(n=52)	21 40.4	33 63.5	11 21.2	11 21.2	28 53.8	10 19.2	2 3.8	0 0.0	0 0.0
40代(n=94)	42 44.7	52 55.3	23 24.5	28 29.8	52 55.3	25 26.6	8 8.5	7 7.4	0 0.0
50代(n=81)	33 40.7	53 65.4	11 13.6	17 21.0	33 40.7	16 19.8	4 4.9	5 6.2	1 1.2
60代(n=133)	46 34.6	88 66.2	37 27.8	40 30.1	49 36.8	12 9.0	15 11.3	3 2.3	1 0.8
70代以上(n=182)	61 33.5	98 53.8	29 15.9	42 23.1	61 33.5	19 10.4	32 17.6	11 6.0	6 3.3
答えない(n=7)	3 42.9	4 57.1	1 14.3	0 0.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0
無回答(n=13)	4 30.8	7 53.8	4 30.8	4 30.8	7 53.8	3 23.1	1 7.7	0 0.0	0 0.0

クロス集計（問6「外国人が増えることの影響」 × 問3「居住地」）

- 「南薩地域」、「北薩地域」、「大隅地域」は、「働き手が増加する」の割合が高くなっています。
- 「熊毛地域」は、「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	国際理解や異文化理解体験の機会が増加する	働き手が増加する (働き手の不足の解消)	地域経済の発展につながる	地域の活性化につながる	文化・習慣の違いによるトラブルが生じる	外国人向けの施策、インフラ整備などの社会的負担が増加する	特に影響はない	その他	無回答
全体(n=605)	230 38.0	363 60.0	129 21.3	152 25.1	259 42.8	96 15.9	64 10.6	31 5.1	8 1.3
鹿児島市(n=233)	93 39.9	131 56.2	50 21.5	61 26.2	98 42.1	44 18.9	26 11.2	13 5.6	4 1.7
その他鹿児島地域(n=30)	12 40.0	16 53.3	6 20.0	4 13.3	13 43.3	3 10.0	4 13.3	0 0.0	1 3.3
南薩地域(n=48)	14 29.2	35 72.9	13 27.1	12 25.0	22 45.8	4 8.3	4 8.3	3 6.3	0 0.0
北薩地域(n=66)	19 28.8	45 68.2	15 22.7	22 33.3	30 45.5	12 18.2	5 7.6	3 4.5	0 0.0
始良・伊佐地域(n=93)	41 44.1	50 53.8	18 19.4	20 21.5	38 40.9	14 15.1	12 12.9	4 4.3	1 1.1
大隅地域(n=67)	22 32.8	50 74.6	13 19.4	12 17.9	26 38.8	9 13.4	5 7.5	4 6.0	1 1.5
熊毛地域(n=18)	8 44.4	9 50.0	4 22.2	6 33.3	10 55.6	2 11.1	1 5.6	2 11.1	0 0.0
大島地域(n=36)	17 47.2	21 58.3	6 16.7	11 30.6	14 38.9	4 11.1	6 16.7	1 2.8	1 2.8
無回答(n=14)	4 28.6	6 42.9	4 28.6	4 28.6	8 57.1	4 28.6	1 7.1	1 7.1	0 0.0

クロス集計（問6「外国人が増えることの影響」 × 問10「外国人との交流頻度」）

- いずれの交流頻度においても、「働き手が増加する」の割合が最も高くなっています。
- 「よくある」、「たまにある」は、全体平均と比較して相対的に「国際理解や異文化理解体験の機会が増加する」、「地域経済の発展につながる」、「地域の活性化につながる」の割合が高くなっています。
- 「よくある」は、全体平均と比較して相対的に「文化・習慣の違いによるトラブルが生じる」の割合が高くなっています。

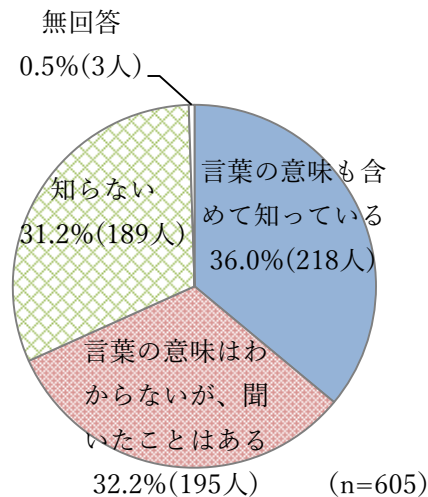
上段:度数 下段:%	国際理解や異文化理解体験の機会が増加する	働き手が増加する (働き手の不足の解消)	地域経済の発展につながる	地域の活性化につながる	文化・習慣の違いによるトラブルが生じる	外国人向けの施策、インフラ整備などの社会的負担が増加する	特に影響はない	その他	無回答
全体(n=605)	230 38.0	363 60.0	129 21.3	152 25.1	259 42.8	96 15.9	64 10.6	31 5.1	8 1.3
よくある(n=42)	24 57.1	27 64.3	12 28.6	13 31.0	13 50.0	8 19.0	2 4.8	6 14.3	0 0.0
たまにある(n=108)	53 49.1	70 64.8	35 32.4	38 35.2	49 45.4	15 13.9	6 5.6	6 5.6	0 0.0
あまりない(n=197)	74 37.6	133 67.5	41 20.8	48 24.4	82 41.6	32 16.2	19 9.6	6 3.0	1 0.5
全くない(n=256)	79 30.9	133 52.0	41 16.0	53 20.7	107 41.8	41 16.0	37 14.5	13 5.1	5 2.0
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

(2) 暮らしや意識に関すること (外国人増加の影響, 多文化共生の認知度・必要性 等)

③ 多文化共生の認知度

問7 あなたは「多文化共生※」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- 「言葉の意味も含めて知っているが」が36.0%と最も高く、次いで「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」(32.2%), 「知らない」(31.2%) の順となっています。



※多文化共生…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

クロス集計 (問7「多文化共生の認知度」 × 問2「年代」)

- 「60代」は、「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」の割合が高くなっています。
- 「30代」、「50代」は、「知らない」の割合が高くなっています。
- 「19歳以下」、「20代」、「40代」、「70代以上」は、「言葉の意味も含めて知っている」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	言葉の意味も含めて 知っている	言葉の意味はわから ないが、聞いたこと はある	知らない	無回答
全体(n=605)	218 36.0	195 32.2	189 31.2	3 0.5
19歳以下(n=7)	3 42.9	2 28.6	2 28.6	0 0.0
20代(n=36)	17 47.2	8 22.2	11 30.6	0 0.0
30代(n=52)	15 28.8	14 26.9	23 44.2	0 0.0
40代(n=94)	41 43.6	23 24.5	30 31.9	0 0.0
50代(n=81)	28 34.6	24 29.6	29 35.8	0 0.0
60代(n=133)	41 30.8	59 44.4	33 24.8	0 0.0
70代以上(n=182)	64 35.2	61 33.5	54 29.7	3 1.6
答えない(n=7)	5 71.4	1 14.3	1 14.3	0 0.0
無回答(n=13)	4 30.8	3 23.1	6 46.2	0 0.0

■ クロス集計（問7「多文化共生の認知度」 × 問3「居住地」）

- 「言葉の意味を含めて知っている」の割合について、「熊毛地域」が44.4%と最も高く、次いで「南薩地域」（39.6%）、「大島地域」（38.9%）の順となっています。
- 「その他鹿児島地域」、「南薩地域」は、「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」の割合が高くなっています。
- 「北薩地域」は、「知らない」の割合が高くなっています。
- 「熊毛地域」は、「言葉の意味も含めて知っている」、「言葉の意味はわからないが、聞いたことはある」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	言葉の意味も含めて 知っている	言葉の意味はわから ないが、聞いたこと はある	知らない	無回答
全体(n=605)	218 36.0	195 32.2	189 31.2	3 0.5
鹿児島市(n=233)	85 36.5	75 32.2	72 30.9	1 0.4
その他鹿児島地域(n=30)	5 16.7	16 53.3	9 30.0	0 0.0
南薩地域(n=48)	19 39.6	19 39.6	10 20.8	0 0.0
北薩地域(n=66)	22 33.3	19 28.8	24 36.4	1 1.5
始良・伊佐地域(n=93)	36 38.7	24 25.8	33 35.5	0 0.0
大隅地域(n=67)	24 35.8	22 32.8	21 31.3	0 0.0
熊毛地域(n=18)	8 44.4	7 38.9	3 16.7	0 0.0
大島地域(n=36)	14 38.9	11 30.6	10 27.8	1 2.8
無回答(n=14)	5 35.7	2 14.3	7 50.0	0 0.0

■ クロス集計（問7「多文化共生の認知度」 × 問10「外国人との交流頻度」）

- 交流頻度が高いほうが、「言葉の意味も含めて知っている」の割合が高い傾向となっています。
- 交流頻度が低いほうが、「知らない」の割合が高い傾向となっています。

上段:度数 下段:%	言葉の意味も含めて 知っている	言葉の意味はわから ないが、聞いたこと はある	知らない	無回答
全体(n=605)	218 36.0	195 32.2	189 31.2	3 0.5
よくある(n=42)	32 76.2	7 16.7	3 7.1	0 0.0
たまにある(n=108)	52 48.1	33 30.6	23 21.3	0 0.0
あまりない(n=197)	67 34.0	76 38.6	53 26.9	1 0.5
全くない(n=256)	67 26.2	79 30.9	110 43.0	0 0.0
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

II 調査結果

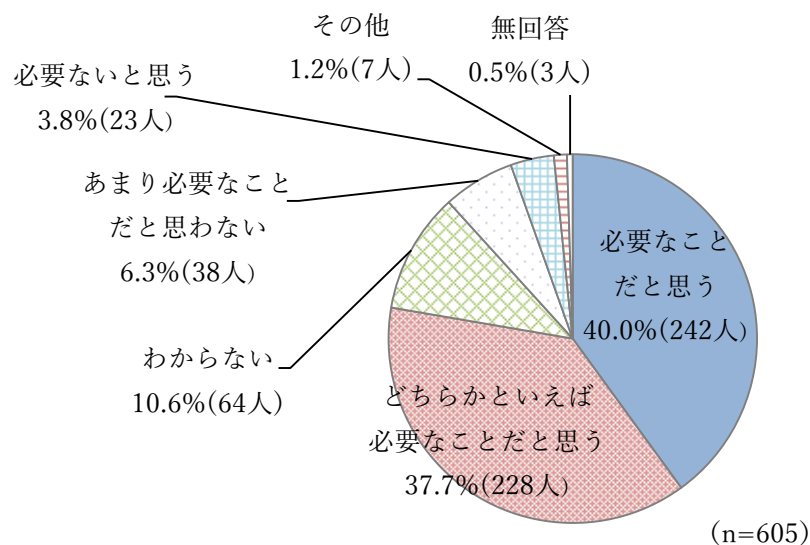
2 日本人県民アンケート調査結果

(2) 暮らしや意識に関すること（外国人増加の影響、多文化共生の認知度・必要性 等）

④ 多文化共生推進の必要性

問8 鹿児島県で多文化共生を推進していくことについて、どう思いますか。（○は1つ）

- 「必要なことだと思う」が40.0%、「どちらかといえば必要なことだと思う」が37.7%となっており、「必要なことだと思う」、「どちらかといえば必要なことだと思う」を合わせた『必要なことだと思う』の割合は77.7%となっています。
- 「あまり必要なことだと思わない」が6.3%、「必要ないと思う」が3.8%となっており、「あまり必要なことだと思わない」、「必要ないと思う」を合わせた『必要ないと思う』の割合は10.1%となっています。



クロス集計（問8「多文化共生推進の必要性」 × 問2「年代」）

- 年代が若いほうが、「必要なことだと思う」の割合が高い傾向となっています。

上段:度数 下段:%	必要なことだ と思う	どちらかといえ ば必要なことだ と思う	あまり必要なこ とだと思わない	必要ないと思う	わからない	その他	無回答
全体(n=605)	242 40.0	228 37.7	38 6.3	23 3.8	64 10.6	7 1.2	3 0.5
19歳以下(n=7)	4 57.1	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
20代(n=36)	20 55.6	10 27.8	1 2.8	3 8.3	1 2.8	1 2.8	0 0.0
30代(n=52)	27 51.9	15 28.8	5 9.6	0 0.0	5 9.6	0 0.0	0 0.0
40代(n=94)	38 40.4	33 35.1	4 4.3	9 9.6	7 7.4	3 3.2	0 0.0
50代(n=81)	36 44.4	28 34.6	7 8.6	3 3.7	5 6.2	2 2.5	0 0.0
60代(n=133)	52 39.1	56 42.1	8 6.0	3 2.3	13 9.8	1 0.8	0 0.0
70代以上(n=182)	56 30.8	78 42.9	11 6.0	5 2.7	29 15.9	0 0.0	3 1.6
答えない(n=7)	3 42.9	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0
無回答(n=13)	6 46.2	3 23.1	2 15.4	0 0.0	2 15.4	0 0.0	0 0.0

クロス集計（問8「多文化共生推進の必要性」 × 問3「居住地」）

- いずれの地域においても、「必要なことだと思う」、「どちらかといえば必要なことだと思う」を合わせた『必要なことだと思う』の割合が70%以上となっています。
- 「その他鹿児島地域」、「始良・伊佐地域」、「熊毛地域」は、「必要なことだと思う」の割合が高くなっています。
- 「南薩地域」は、「どちらかといえば必要なことだと思う」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	必要なこと と思う	どちらかとい えば必要な ことだと思 う	あまり必要 なことだと思 わない	必要ないと思 う	わからない	その他	無回答
全体(n=605)	242 40.0	228 37.7	38 6.3	23 3.8	64 10.6	7 1.2	3 0.5
鹿児島市(n=233)	96 41.2	95 40.8	13 5.6	6 2.6	20 8.6	1 0.4	2 0.9
その他鹿児島地域(n=30)	14 46.7	10 33.3	1 3.3	2 6.7	3 10.0	0 0.0	0 0.0
南薩地域(n=48)	17 35.4	21 43.8	2 4.2	2 4.2	6 12.5	0 0.0	0 0.0
北薩地域(n=66)	22 33.3	26 39.4	5 7.6	4 6.1	8 12.1	1 1.5	0 0.0
始良・伊佐地域(n=93)	42 45.2	29 31.2	4 4.3	2 2.2	13 14.0	3 3.2	0 0.0
大隅地域(n=67)	24 35.8	24 35.8	7 10.4	3 4.5	8 11.9	1 1.5	0 0.0
熊毛地域(n=18)	10 55.6	5 27.8	2 11.1	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0
大島地域(n=36)	11 30.6	15 41.7	1 2.8	3 8.3	4 11.1	1 2.8	1 2.8
無回答(n=14)	6 42.9	3 21.4	3 21.4	1 7.1	1 7.1	0 0.0	0 0.0

クロス集計（問8「多文化共生推進の必要性」 × 問10「外国人との交流頻度」）

- 交流頻度に関わらず、「必要なことだと思う」、「どちらかといえば必要なことだと思う」を合わせた『必要なことだと思う』の割合は65%以上となっています。
- 交流頻度が高いほうが、「必要なことだと思う」の割合が高い傾向となっています。
- 交流頻度が低いほうが、「あまり必要なことだと思わない」の割合が高い傾向となっています。

上段:度数 下段:%	必要なこと と思う	どちらかとい えば必要な ことだと思 う	あまり必要 なことだと思 わない	必要ないと思 う	わからない	その他	無回答
全体(n=605)	242 40.0	228 37.7	38 6.3	23 3.8	64 10.6	7 1.2	3 0.5
よくある(n=42)	27 64.3	9 21.4	1 2.4	3 7.1	0 0.0	2 4.8	0 0.0
たまにある(n=108)	60 55.6	31 28.7	4 3.7	5 4.6	7 6.5	1 0.9	0 0.0
あまりない(n=197)	76 38.6	93 47.2	7 3.6	2 1.0	16 8.1	3 1.5	0 0.0
全くない(n=256)	79 30.9	95 37.1	26 10.2	13 5.1	41 16.0	1 0.4	1 0.4
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

II 調査結果

2 日本人県民アンケート調査結果

■ クロス集計（問8「多文化共生推進の必要性」 × 問4「職業」）

- いずれの職業においても、「必要なことだと思う」、「どちらかといえば必要なことだと思う」を合わせた『必要なことだと思う』の割合が65%以上となっています。
- 「自営業」、「公務員」、「アルバイト」、「学生・専門学校生」は、「必要なことだと思う」の割合が最も高くなっています。
- 「会社員」、「派遣社員・契約社員」、「家事専業」、「無職」は、「どちらかといえば必要なことだと思う」の割合が最も高くなっています。

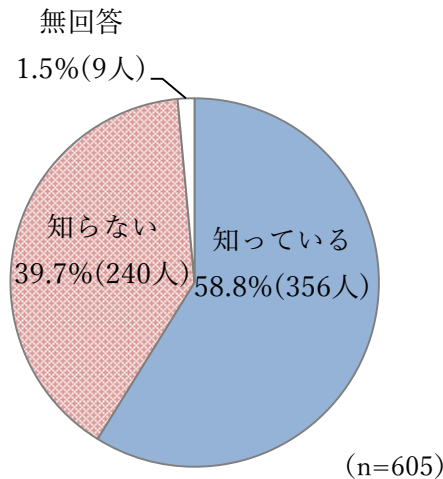
上段:度数 下段:%	必要なこと だと思う	どちらかとい えば必要な ことだと思 う	あまり必要な ことだと思 わない	必要ないと思 う	わからない	その他	無回答
全体(n=605)	242 40.0	228 37.7	38 6.3	23 3.8	64 10.6	7 1.2	3 0.5
自営業(n=52)	23 44.2	17 32.7	4 7.7	3 5.8	4 7.7	1 1.9	0 0.0
会社員(n=134)	49 36.6	60 44.8	3 2.2	9 6.7	11 8.2	2 1.5	0 0.0
公務員(n=32)	22 68.8	6 18.8	1 3.1	1 3.1	2 6.3	0 0.0	0 0.0
アルバイト(n=51)	27 52.9	15 29.4	2 3.9	1 2.0	5 9.8	1 2.0	0 0.0
派遣社員・契約社員(n=35)	14 40.0	16 45.7	0 0.0	1 2.9	3 8.6	1 2.9	0 0.0
学生・専門学校生(n=18)	12 66.7	5 27.8	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0
家事専業(n=58)	18 31.0	23 39.7	7 12.1	1 1.7	7 12.1	2 3.4	0 0.0
無職(n=155)	51 32.9	55 35.5	16 10.3	5 3.2	27 17.4	0 0.0	1 0.6
その他(n=54)	17 31.5	27 50.0	3 5.6	1 1.9	4 7.4	0 0.0	2 3.7
無回答(n=16)	9 56.3	4 25.0	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0

(3) 言葉に関すること（やさしい日本語の認知度）

①やさしい日本語の認知度

問9 あなたは「やさしい日本語※」を知っていますか。(○は1つ)

- 「知っている」が58.8%、「知らない」が39.7%となっています。



※やさしい日本語…難しい言葉を言い換える等、相手に配慮したわかりやすい日本語のこと

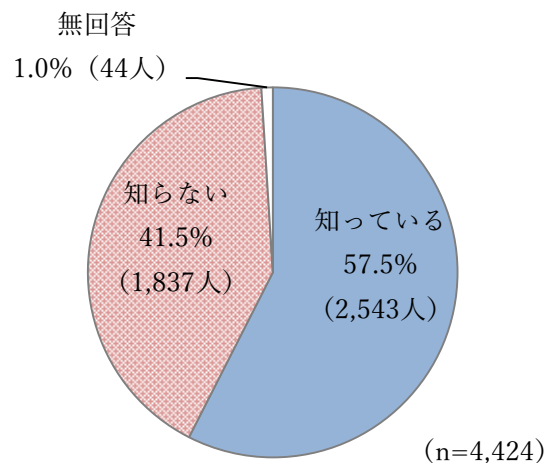
例)「高台へ避難してください」→「高い所へ逃げてください」

全国比較

- 「知っている」と回答した割合は、本調査では58.8%、出入国在留管理庁調査※1では57.5%となっています。
- 「知らない」と回答した割合は、本調査では39.7%、出入国在留管理庁調査※1では41.5%となっています。
- 本調査と全国調査を比べると、同程度の回答比率割合となっています。

※1 「外国人との共生に関する意識調査（日本人対象）」（出入国在留管理庁、令和6年3月）

〔参考〕外国人との共生に関する意識調査（日本人対象）における「やさしい日本語」認知度の回答割合



（出典：出入国在留管理庁 外国人との共生に関する意識調査（日本人対象） 令和6年3月）

II 調査結果

2 日本人県民アンケート調査結果

■ クロス集計（問9「やさしい日本語の認知度」 × 問2「年代」）

- 若い年代のほうが、「知っている」の割合が高い傾向となっています。
- 「30代」は、年代別で比較した際に「知っている」の割合が最も低くなっています。

上段:度数 下段:%	知っている	知らない	無回答
全体(n=605)	356 58.8	240 39.7	9 1.5
19歳以下(n=7)	5 71.4	2 28.6	0 0.0
20代(n=36)	23 63.9	12 33.3	1 2.8
30代(n=52)	27 51.9	25 48.1	0 0.0
40代(n=94)	50 53.2	44 46.8	0 0.0
50代(n=81)	44 54.3	36 44.4	1 1.2
60代(n=133)	73 54.9	58 43.6	2 1.5
70代以上(n=182)	123 67.6	54 29.7	5 2.7
答えない(n=7)	4 57.1	3 42.9	0 0.0
無回答(n=13)	7 53.8	6 46.2	0 0.0

■ クロス集計（問9「やさしい日本語の認知度」 × 問3「居住地」）

- 「知っている」の割合について、「熊毛地域」が83.3%と最も高く、次いで「北薩地域」（66.7%）、「大隅地域」（62.7%）の順となっています。
- 「北薩地域」、「熊毛地域」は、「知っている」の割合が高くなっています。
- 「知っている」の割合について、「大島地域」が最も低くなっています。

上段:度数 下段:%	知っている	知らない	無回答
全体(n=605)	356 58.8	240 39.7	9 1.5
鹿児島市(n=233)	130 55.8	97 41.6	6 2.6
その他鹿児島地域(n=30)	16 53.3	14 46.7	0 0.0
南薩地域(n=48)	30 62.5	17 35.4	1 2.1
北薩地域(n=66)	44 66.7	22 33.3	0 0.0
始良・伊佐地域(n=93)	53 57.0	40 43.0	0 0.0
大隅地域(n=67)	42 62.7	24 35.8	1 1.5
熊毛地域(n=18)	15 83.3	3 16.7	0 0.0
大島地域(n=36)	17 47.2	18 50.0	1 2.8
無回答(n=14)	9 64.3	5 35.7	0 0.0

■ クロス集計（問9「やさしい日本語の認知度」 × 問7「多文化共生の認知度」）

- 「多文化共生」の認知度が高い方が、「やさしい日本語」の認知度も高い傾向となっています。

上段:度数 下段:%	知っている	知らない	無回答
全体(n=605)	356 58.8	240 39.7	9 1.5
言葉の意味も含めて 知っている(n=218)	167 76.6	51 23.4	0 0.0
言葉の意味はわからないが、 聞いたことはある(n=195)	102 52.3	89 45.6	4 2.1
知らない(n=189)	86 45.5	100 52.9	3 1.6
無回答(n=3)	1 33.3	0 0.0	2 66.7

■ クロス集計（問9「やさしい日本語の認知度」 × 問10「外国人との交流頻度」）

- 「よくある」、「たまにある」は、「知っている」の割合が高くなっています。

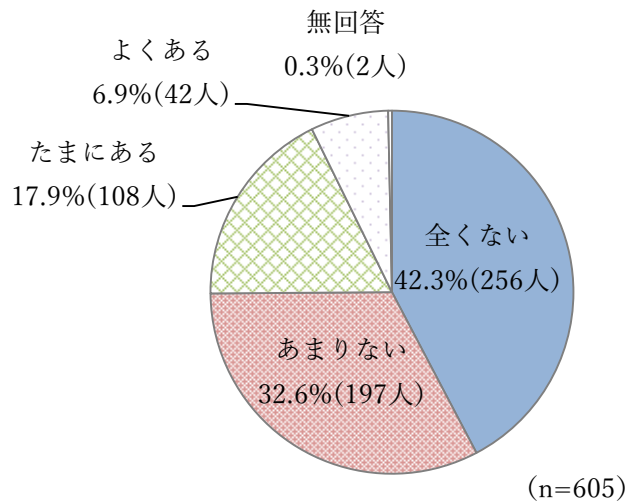
上段:度数 下段:%	知っている	知らない	無回答
全体(n=605)	356 58.8	240 39.7	9 1.5
よくある(n=42)	29 69.0	13 31.0	0 0.0
たまにある(n=108)	80 74.1	28 25.9	0 0.0
あまりない(n=197)	114 57.9	81 41.1	2 1.0
全くない(n=256)	133 52.0	118 46.1	5 2.0
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	2 100.0

(4) 外国人との相互の交流に関すること（交流頻度、交流の機会 等）

① 外国人との交流頻度

問 10 あなたは現在、普段の生活で外国人と交流する頻度はどれくらいありますか。（○は1つ）

- 「たまにある」が17.9%、「よくある」が6.9%となっており、「たまにある」、「よくある」を合わせた『ある』の割合は24.8%となっています。
- 「全くない」が42.3%、「あまりない」が32.6%となっており、「全くない」、「あまりない」を合わせた『ない』の割合は74.9%となっています。

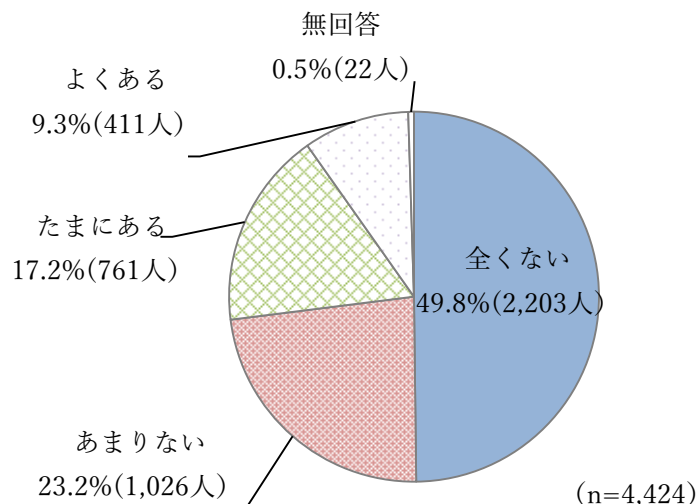


全国比較

- 出入国在留管理庁調査※1では、「たまにある」、「よくある」を合わせた『ある』と回答した割合は26.5%となっています。
- 出入国在留管理庁調査※1では、「全くない」、「あまりない」を合わせた『ない』と回答した割合は73.0%となっています。
- 本調査と全国調査を比べると、同程度の回答比率割合となっています。

※1 「外国人との共生に関する意識調査（日本人対象）」（出入国在留管理庁、令和6年3月）

〔参考〕外国人との共生に関する意識調査（日本人対象）における交流頻度ごとの回答割合



（出典：出入国在留管理庁 外国人との共生に関する意識調査（日本人対象） 令和6年3月）

■ クロス集計（問 10「外国人との交流頻度」 × 問 2「年代」）

- 年代が若いほうが、「あまりない」の割合が多い傾向となっています。
- 年代が高いほうが、「全くない」の割合が多い傾向となっています。
- 「19 歳以下」、「40 代」は、「たまにある」の割合が最も高くなっています。
- 「20 代」は、「あまりない」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	よくある	たまにある	あまりない	全くない	無回答
全体(n=605)	42 6.9	108 17.9	197 32.6	256 42.3	2 0.3
19歳以下(n=7)	0 0.0	4 57.1	3 42.9	0 0.0	0 0.0
20代(n=36)	5 13.9	8 22.2	15 41.7	8 22.2	0 0.0
30代(n=52)	4 7.7	8 15.4	18 34.6	22 42.3	0 0.0
40代(n=94)	10 10.6	35 37.2	28 29.8	21 22.3	0 0.0
50代(n=81)	7 8.6	11 13.6	27 33.3	36 44.4	0 0.0
60代(n=133)	7 5.3	19 14.3	48 36.1	59 44.4	0 0.0
70代以上(n=182)	7 3.8	20 11.0	52 28.6	101 55.5	2 1.1
答えない(n=7)	1 14.3	1 14.3	2 28.6	3 42.9	0 0.0
無回答(n=13)	1 7.7	2 15.4	4 30.8	6 46.2	0 0.0

■ クロス集計（問 10「外国人との交流頻度」 × 問 3「居住地」）

- 「よくある」、「たまにある」を合わせた『ある』の割合について、「その他鹿児島地域」が 40.0%と最も高く、次いで「熊毛地域」(33.3%)、「大島地域」(30.5%)の順となっています。

上段:度数 下段:%	よくある	たまにある	あまりない	全くない	無回答
全体(n=605)	42 6.9	108 17.9	197 32.6	256 42.3	2 0.3
鹿児島市(n=233)	12 5.2	37 15.9	83 35.6	100 42.9	1 0.4
その他鹿児島地域(n=30)	4 13.3	8 26.7	4 13.3	14 46.7	0 0.0
南薩地域(n=48)	1 2.1	11 22.9	13 27.1	23 47.9	0 0.0
北薩地域(n=66)	2 3.0	10 15.2	22 33.3	32 48.5	0 0.0
姶良・伊佐地域(n=93)	11 11.8	15 16.1	24 25.8	43 46.2	0 0.0
大隅地域(n=67)	5 7.5	13 19.4	30 44.8	19 28.4	0 0.0
熊毛地域(n=18)	2 11.1	4 22.2	4 22.2	8 44.4	0 0.0
大島地域(n=36)	4 11.1	7 19.4	13 36.1	11 30.6	1 2.8
無回答(n=14)	1 7.1	3 21.4	4 28.6	6 42.9	0 0.0

II 調査結果

2 日本人県民アンケート調査結果

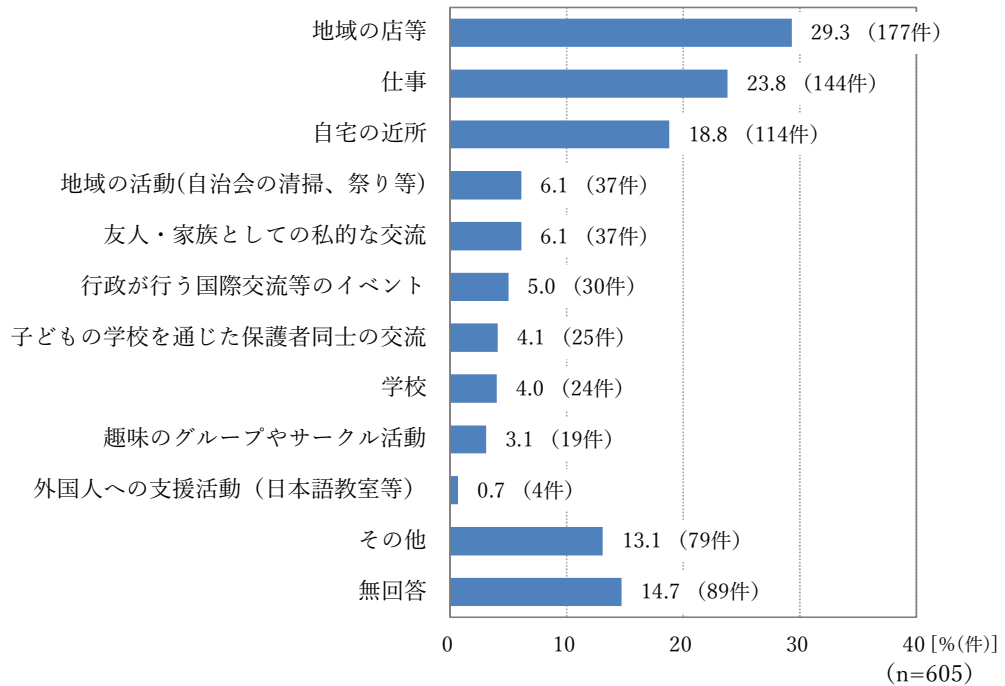
(4) 外国人との相互の交流に関すること（交流頻度、交流の機会 等）

② 外国人との交流の機会

問 11 あなたが鹿児島県に住む外国人と交流するのはどのような場面ですか。

（当てはまるものすべてに○）

- 「地域の店等」が29.3%と最も高く、次いで「仕事」(23.8%)、「自宅の近所」(18.8%)の順となっています。



「その他」の主な意見例
子供の習い事の先生
客としての来客
旅行先のホテル
道ですれ違う程度

■ クロス集計（問 11「外国人との交流の機会」 × 問 10「外国人との交流頻度」）

- 「よくある」、「たまにある」は、「仕事」の割合が最も高く、次いで「自宅の近所」の順となっています。
- 「あまりない」、「全くない」は、「地域の店等」の割合が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	自宅の近所	地域の活動 (自治会の清 掃、祭り等)	仕事	学校	子どもの学校 を通じた保護 者同士の交流	行政が行う国 際交流等の イベント
全体(n=605)	114 18.8	37 6.1	144 23.8	24 4.0	25 4.1	30 5.0
よくある(n=42)	17 40.5	3 7.1	27 64.3	4 9.5	7 16.7	3 7.1
たまにある(n=108)	37 34.3	9 8.3	59 54.6	7 6.5	9 8.3	2 1.9
あまりない(n=197)	39 19.8	11 5.6	42 21.3	7 3.6	8 4.1	11 5.6
全くない(n=256)	21 8.2	14 5.5	16 6.3	6 2.3	1 0.4	14 5.5
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段:度数 下段:%	外国人への 支援活動 (日本語 教室等)	趣味のグルー プやサークル 活動	友人・家族と しての私的な 交流	地域の店等	その他	無回答
全体(n=605)	4 0.7	19 3.1	37 6.1	177 29.3	79 13.1	89 14.7
よくある(n=42)	1 2.4	2 4.8	11 26.2	7 16.7	1 2.4	0 0.0
たまにある(n=108)	1 0.9	5 4.6	13 12.0	20 18.5	6 5.6	0 0.0
あまりない(n=197)	2 1.0	5 2.5	9 4.6	81 41.1	21 10.7	8 4.1
全くない(n=256)	0 0.0	7 2.7	4 1.6	69 27.0	51 19.9	79 30.9
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0

II 調査結果

2 日本人県民アンケート調査結果

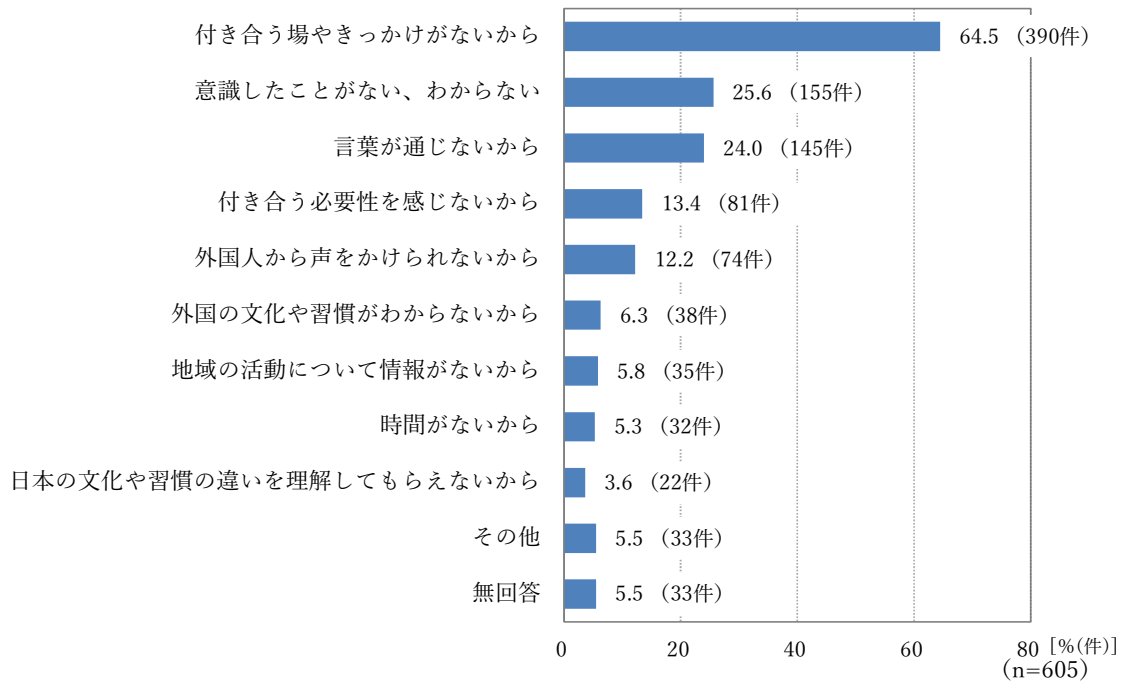
(4) 外国人との相互の交流に関すること（交流頻度、交流の機会 等）

③ 交流がない理由

問 12 あなたが、日頃、外国人との付き合いがない理由は次のうちどれですか。

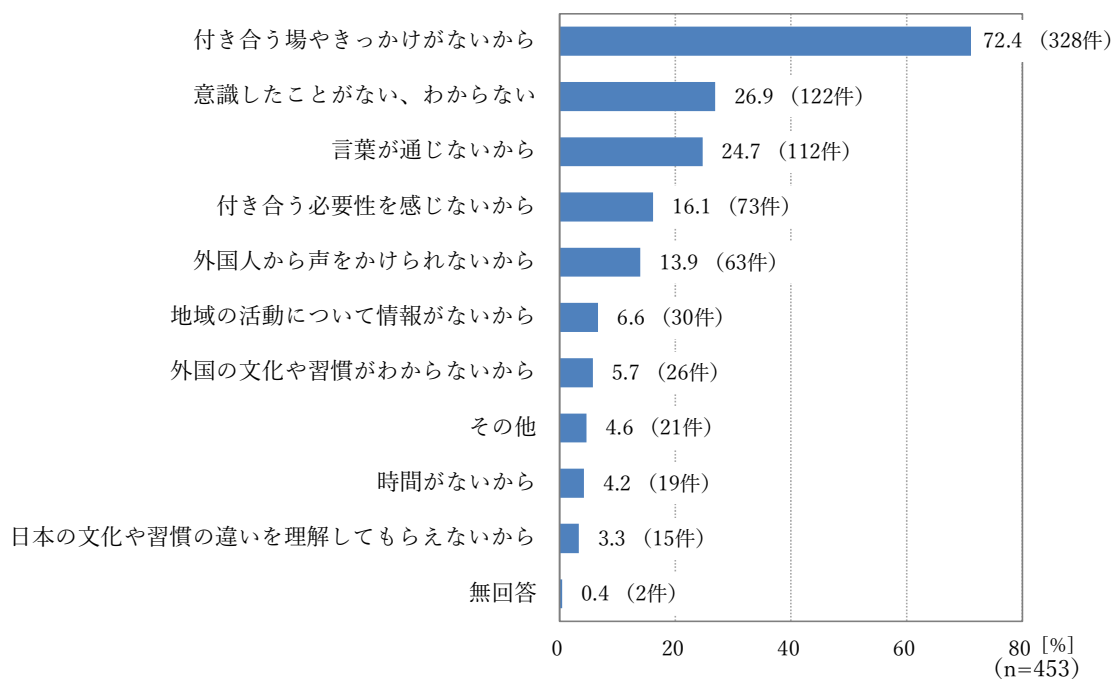
（当てはまるものすべてに○）

- 「付き合う場やきっかけがないから」が64.5%と最も高く、次いで「意識したことがない、わからない」(25.6%)、「言葉が通じないから」(24.0%)の順となっています。



〔参考〕外国人との付き合いがない理由

（問 10 で「あまりない」、「全くない」を選択した人）



■ クロス集計（問 12「外国人との交流がない理由」 × 問 10「外国人との交流頻度」）

- 「たまにある」、「あまりない」、「全くない」は、「付き合う場やきっかけがないから」の割合が最も高くなっています。
- 「あまりない」は、「言葉が通じないから」の割合も高くなっています。

	上段:度数 下段:%	言葉が通じないから	外国の文化や習慣がわからないから	日本の文化や習慣の違いを理解してもらえないから	時間が ないから	付き合う場や きっかけがないから
全体(n=605)	145 24.0	38 6.3	22 3.6	32 5.3	390 64.5	
よくある(n=42)	7 16.7	3 7.1	1 2.4	2 4.8	10 23.8	
たまにある(n=108)	26 24.1	9 8.3	6 5.6	11 10.2	52 48.1	
あまりない(n=197)	60 30.5	14 7.1	7 3.6	11 5.6	147 74.6	
全くない(n=256)	52 20.3	12 4.7	8 3.1	8 3.1	181 70.7	
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	

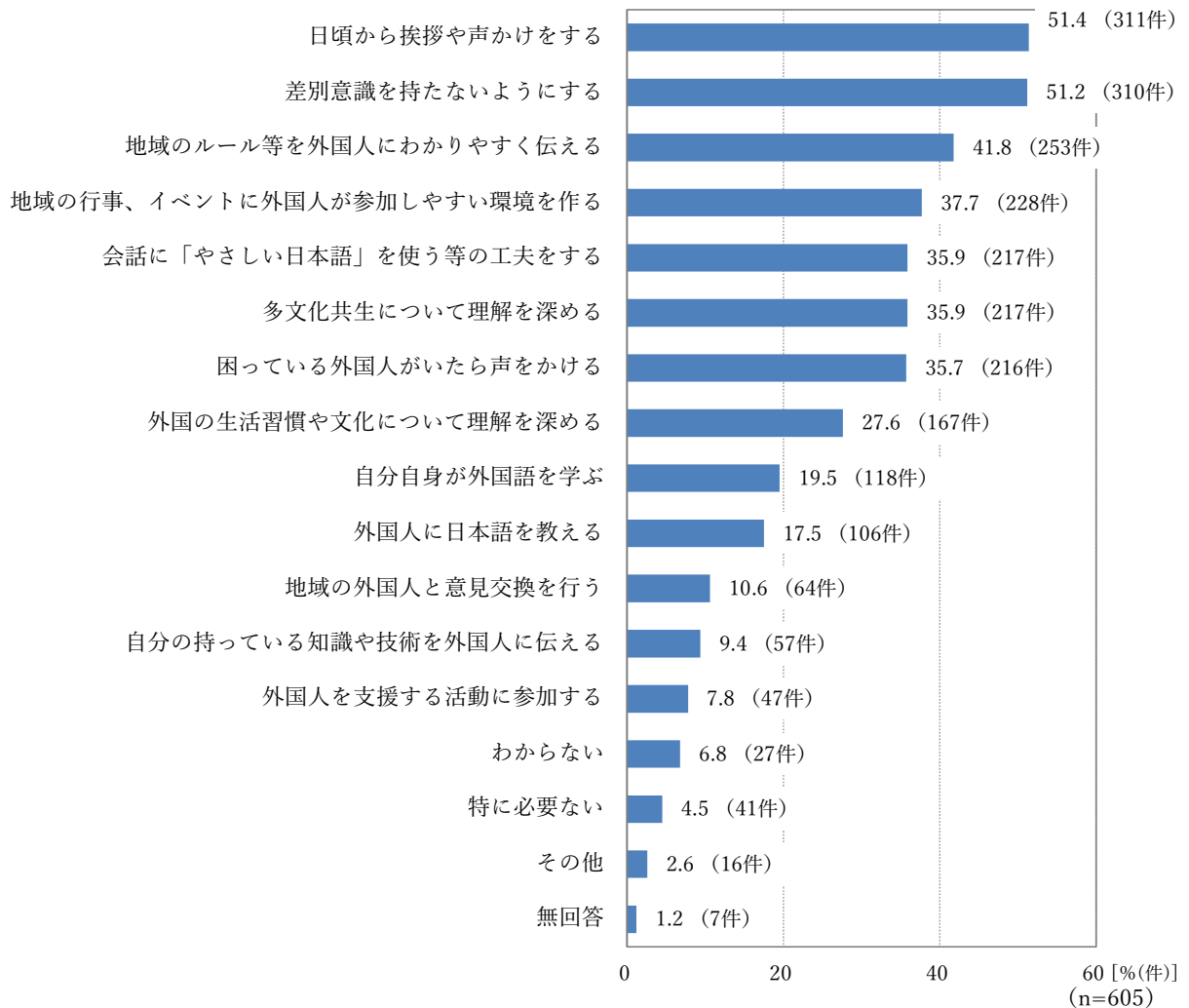
	上段:度数 下段:%	付き合う 必要性を感じ ないから	外国人から 声をかけられ ないから	意識した ことがない、 わからない	その他	無回答
全体(n=605)	81 13.4	74 12.2	155 25.6	33 5.5	33 5.5	
よくある(n=42)	1 2.4	3 7.1	5 11.9	5 11.9	17 40.5	
たまにある(n=108)	7 6.5	8 7.4	28 25.9	7 6.5	12 11.1	
あまりない(n=197)	21 10.7	26 13.2	48 24.4	6 3.0	2 1.0	
全くない(n=256)	52 20.3	37 14.5	74 28.9	15 5.9	0 0.0	
無回答(n=2)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	

(5) 外国人との相互理解に必要なこと

① 外国人と互いに理解しあって生活するのに必要なこと

問 13 外国人と互いに理解しあって生活するために、日本人にはどのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

- 「日頃から挨拶や声かけをする」が51.4%と最も高く、次いで「差別意識を持たないようにする」(51.2%)、「地域のルール等を外国人にわかりやすく伝える」(41.8%)の順となっています。



「その他」の主な意見例
地域の行事、文化等の理解を求める
日本人同士の暗黙ルールは通用しないということを意識する
自分も相手もおなじ人間であるという気づき

■ クロス集計（問 13「外国人と互いに理解しあって生活するのに必要なこと」 ×

問 10「外国人との交流頻度」)

- 「よくある」、「たまにある」、「あまりない」は、「日頃から挨拶や声かけをする」の割合が最も高くなっています。
- 「あまりない」、「全くない」は、「差別意識を持たないようにする」の割合が最も高くなっています。

	日頃から挨拶や声かけをする	地域の行事、イベントに外国人が参加しやすい環境を作る	会話に「やさしい日本語」を使う等の工夫をする	地域のルール等を外国人にわかりやすく伝える	自分の持っている知識や技術を外国人に伝える	多文化共生について理解を深める	外国の生活習慣や文化について理解を深める	差別意識を持たないようにする	外国人に日本語を教える
全体(n=605)	311 51.4	228 37.7	217 35.9	253 41.8	57 9.4	217 35.9	167 27.6	310 51.2	106 17.5
よくある(n=42)	29 69.0	21 50.0	23 54.8	21 50.0	12 28.6	18 42.9	24 57.1	21 50.0	17 40.5
たまにある(n=108)	65 60.2	46 42.6	45 41.7	50 46.3	16 14.8	51 47.2	34 31.5	60 55.6	22 20.4
あまりない(n=197)	108 54.8	88 44.7	78 39.6	96 48.7	14 7.1	72 36.5	56 28.4	108 54.8	36 18.3
全くない(n=256)	108 42.2	72 28.1	70 27.3	86 33.6	15 5.9	75 29.3	52 20.3	120 46.9	30 11.7
無回答(n=2)	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0

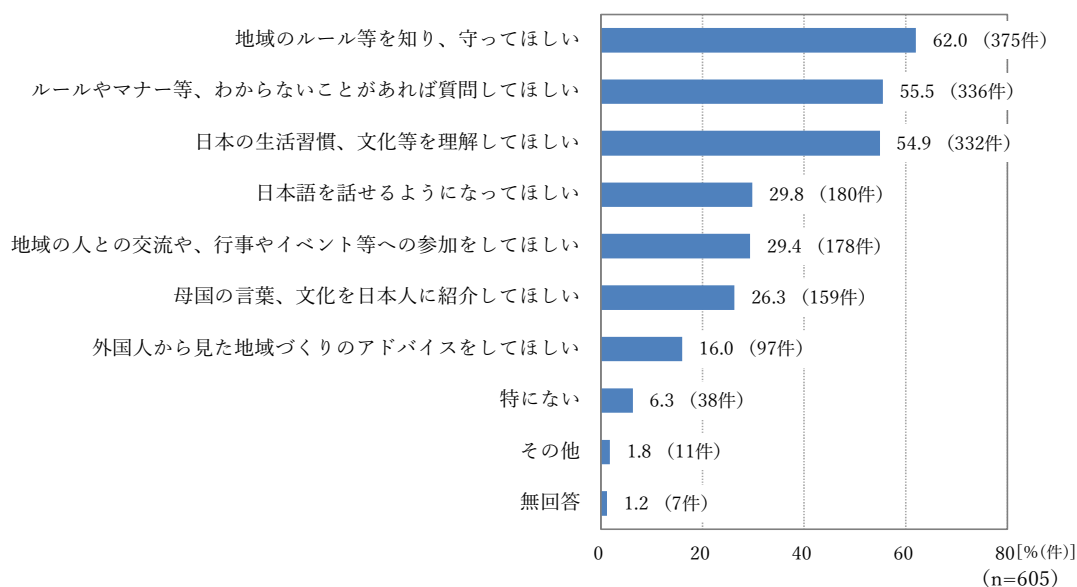
	地域の外国人と意見交換を行う	困っている外国人がいたら声をかける	外国人を支援する活動に参加する	自分自身が外国語を学ぶ	特に必要ない	わからない	その他	無回答
全体(n=605)	64 10.6	216 35.7	47 7.8	118 19.5	27 4.5	41 6.8	16 2.6	7 1.2
よくある(n=42)	12 28.6	23 54.8	10 23.8	16 38.1	1 2.4	0 0.0	5 11.9	1 2.4
たまにある(n=108)	16 14.8	41 38.0	12 11.1	25 23.1	4 3.7	2 1.9	4 3.7	1 0.9
あまりない(n=197)	21 10.7	78 39.6	11 5.6	44 22.3	5 2.5	6 3.0	3 1.5	1 0.5
全くない(n=256)	15 5.9	73 28.5	14 5.5	33 12.9	17 6.6	32 12.5	4 1.6	4 1.6
無回答(n=2)	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

(5) 外国人との相互理解に必要なこと

② 互いに理解しあって生活するために外国人に希望すること

問 14 日本で暮らす外国人が日本人と互いに理解しあって生活するために、外国人にどのようなことを希望しますか。(当てはまるものすべてに○)

- 「地域のルール等を知り、守ってほしい」が 62.0%と最も高く、次いで「ルールやマナー等、わからないことがあれば質問してほしい」(55.5%),「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」(54.9%)の順となっています。



「その他」の主な意見例
みんなで助け合っていくことが大事
理解し合うことは難しい

■ クロス集計（問 14「互いに理解しあって生活するために外国人に希望すること」 ×

問 10「外国人との交流頻度」)

- 「よくある」、「たまにある」は、「ルールやマナー等、わからないことがあれば質問してほしい」の割合が最も高くなっています。
- 「あまりない」、「全くない」は、「地域のルール等を知り、守ってほしい」の割合が最も高くなっています。
- 「あまりない」は、「日本の生活習慣、文化等を理解してほしい」、「ルールやマナー等、わからないことがあれば質問してほしい」の割合も高くなっています。

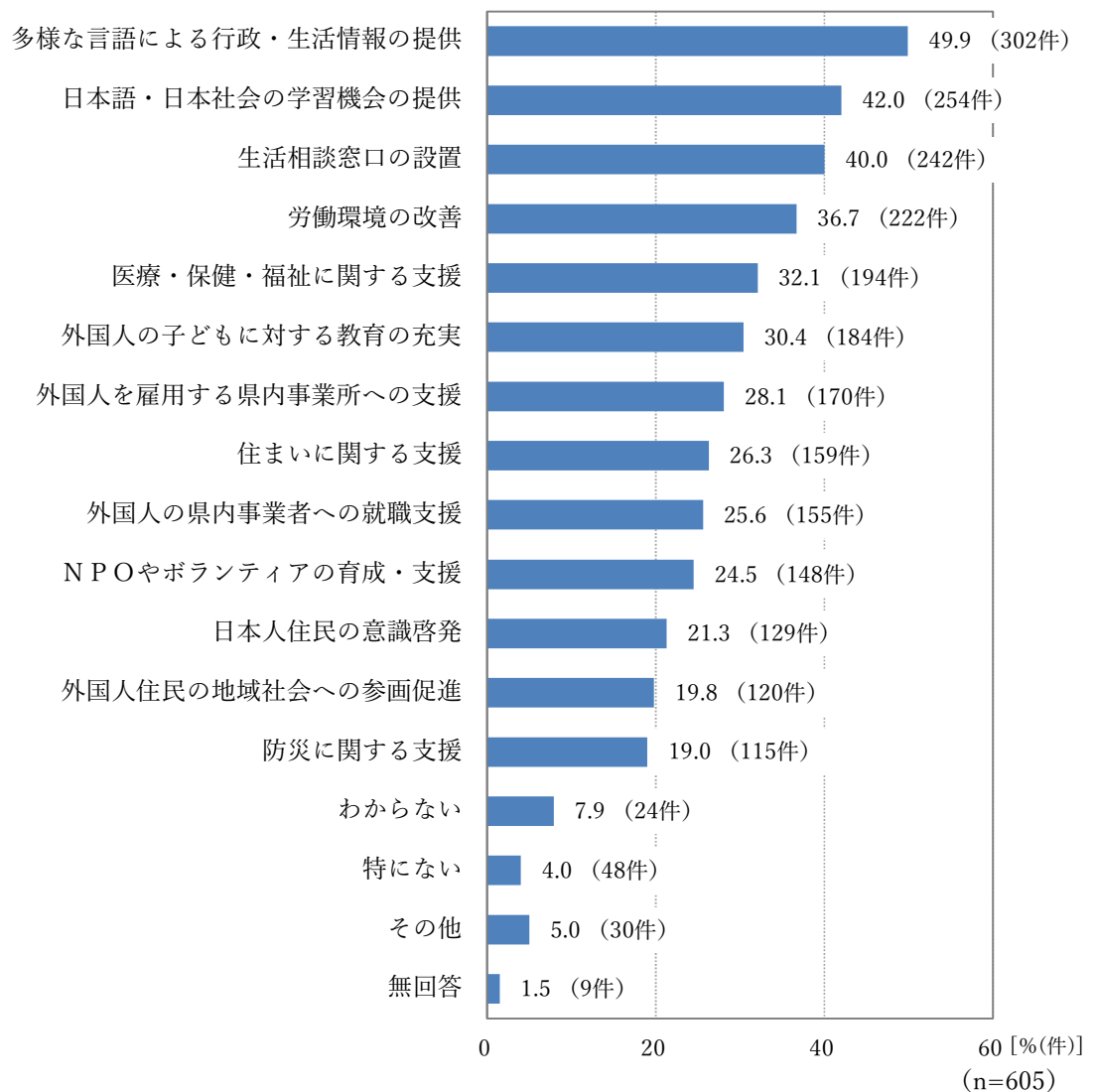
上段:度数 下段:%	地域の人との 交流や、行事やイ ベント等への参加 をして ほしい	地域のルール等を 知り、守ってほし い	日本語を話せるよ うになって ほしい	日本の生活 習慣、文化等を理 解してほしい	ルールやマナー 等、わからないこ とがあれば 質問してほしい	外国人から見た地 域づくりの アドバイスを してほしい	母国の言葉、 文化を日本人に紹 介してほしい	特にない	その他	無回答
全体(n=605)	178 29.4	375 62.0	180 29.8	332 54.9	336 55.5	97 16.0	159 26.3	38 6.3	11 1.8	7 1.2
よくある(n=42)	18 42.9	26 61.9	22 52.4	24 57.1	28 66.7	13 31.0	26 61.9	1 2.4	2 4.8	1 2.4
たまにある(n=108)	31 28.7	66 61.1	38 35.2	55 50.9	67 62.0	24 22.2	36 33.3	2 1.9	1 0.9	1 0.9
あまりない(n=197)	56 28.4	133 67.5	54 27.4	118 59.9	122 61.9	34 17.3	50 25.4	5 2.5	5 2.5	1 0.5
全くない(n=256)	72 28.1	149 58.2	65 25.4	135 52.7	118 46.1	26 10.2	46 18.0	29 11.3	3 1.2	4 1.6
無回答(n=2)	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0

(6) 行政に求める取組

① 行政に求める取組

問 15 地域で多文化共生を推進していくために、行政はどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

- 「多様な言語による行政・生活情報の提供」が49.9%と最も高く、次いで「日本語・日本社会の学習機会の提供」(42.0%)、「生活相談窓口の設置」(40.0%)の順となっています。



「その他」の主な意見例
地域の日本人との交流の場所
多様な話し合いの場
日常生活や生活環境に対する相互理解の促進
本人や雇用先が自助努力しやすい環境づくり
行政機関職員の外国語研修

■ クロス集計（問 15「行政に求める取組」 × 問 10「外国人との交流頻度」）

- いずれの交流頻度にも関わらず、「多様な言語による行政・生活情報の提供」の割合が最も高くなっています。
- 「よくある」は、「外国人を雇用する県内事業所への支援」の割合も最も高くなっています。
- 「あまりない」は、「防災に関する支援」の割合も高くなっています。

上段:度数 下段:%	多様な言語に よる行政・生活情 報の提供	生活相談窓口の設 置	NPOやボラン ティアの育成・ 支援	日本語・日本 社会の学習機会 の提供	住まいに 関する支援	外国人の子どもに 対する 教育の充実	労働環境 の改善	医療・保健・ 福祉に関する 支援	防災に関する 支援
全体(n=605)	302 49.9	242 40.0	148 24.5	254 42.0	159 26.3	184 30.4	222 36.7	194 32.1	115 19.0
よくある(n=42)	22 52.4	16 38.1	14 33.3	20 47.6	16 38.1	16 38.1	19 45.2	19 45.2	13 31.0
たまにある(n=108)	66 61.1	44 40.7	30 27.8	47 43.5	33 30.6	37 34.3	43 39.8	40 37.0	15 13.9
あまりない(n=197)	104 52.8	81 41.1	50 25.4	92 46.7	53 26.9	67 34.0	76 38.6	67 34.0	48 24.4
全くない(n=256)	109 42.6	101 39.5	53 20.7	95 37.1	57 22.3	63 24.6	84 32.8	68 26.6	39 15.2
無回答(n=2)	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段:度数 下段:%	日本人住民の 意識啓発	外国人住民の 地域社会への 参画促進	外国人を雇用 する県内事業所へ の支援	外国人の県内 事業者への就職支 援	特にな	わからない	その他	無回答
全体(n=605)	129 21.3	120 19.8	170 28.1	155 25.6	24 4.0	48 7.9	30 5.0	9 1.5
よくある(n=42)	14 33.3	10 23.8	22 52.4	18 42.9	1 2.4	1 2.4	6 14.3	1 2.4
たまにある(n=108)	25 23.1	22 20.4	32 29.6	26 24.1	2 1.9	3 2.8	5 4.6	1 0.9
あまりない(n=197)	45 22.8	41 20.8	49 24.9	52 26.4	5 2.5	10 5.1	11 5.6	1 0.5
全くない(n=256)	44 17.2	47 18.4	66 25.8	58 22.7	15 5.9	34 13.3	8 3.1	6 2.3
無回答(n=2)	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0